

静岡県^の財政状況

平成28年9月

静岡県

富国有徳の理想郷

しずおか



目 次

[説明資料関連ページ]

<“ふじのくに”の概況>	静岡県の人⼗・経済及び産業の状況	1	(5)
	静岡県に関する各種指標統計	2	(5)
<県政ビジョン>	平成27年度富士山静岡空港 就航先・搭乗率の状況	3	(23)
<静岡県の財政状況>	平成27年度一般会計 歳入決算の状況	4	(26)
	平成28年度一般会計 歳入予算の状況	5	(26)
	一般会計 歳入決算の推移	6	(26)
	一般会計 歳入(県税)決算の推移	7	(27)
	平成27年度一般会計 歳出(分析別)決算の状況	8	(28)
	平成27年度一般会計 歳出(款別)決算の状況	9	(28)
	平成28年度一般会計 歳出(分析別)予算の状況	10	(28)
	平成28年度一般会計 歳出(款別)予算の状況	11	(28)
	一般会計 歳出決算の推移	12	(28)
	(参考)一般会計 歳出予算(最終)の推移	13	(28)
	平成27年度 特別会計決算の状況	14	
	平成27年度 公営事業会計決算の状況(収益的収支)	15	(29)
	平成27年度 公営事業会計決算の状況(資本的収支)	16	(29)
	地方公社の改革計画への取組	17	(31)
	地方公社の決算状況	18	(31)
	静岡県の外郭団体の経営状況	19-20	(32)
	財政の中期試算	21-28	(30)
	財政関係指標の推移(普通会計)	29-31	(30)
	平成26年度 静岡県の財務諸表	32-37	
	県債残高の推移(一般会計、特別会計及び企業会計)	38	(36)
<静岡県の起債運営>	財政課所管基金の年度末残高の推移	39	(36)
	減債基金への積立ての状況	40	(36)
	プライマリーバランスの推移	41	(33)
	静岡県公募公債の発行状況	42	(37)

静岡県人口・経済及び産業の状況

○静岡県の人口及び全国順位の推移

(単位：千人、%)

項目	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
静岡県人口数(A)	3,792	3,795	3,796	3,793	3,783	3,765	3,749	3,735	3,723	3,705	3,701
全国順位	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
全国人口(B)	127,768	127,900	128,033	128,084	128,032	128,056	127,799	127,515	127,298	127,083	127,110
本県シェア(A/B)	2.97	2.97	2.96	2.96	2.95	2.94	2.93	2.93	2.92	2.92	2.91

※各年度10月1日現在の推計人口(総務省統計局データ)による(平成17、22年度は国勢調査数値、27年度は国勢調査速報値)。

○静岡県の県内総生産及び一人当たり県民所得の推移

項目	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
県内総生産(百万円)	17,013,068	17,272,269	17,269,495	16,457,059	15,077,796	15,518,685	15,563,349	15,485,316	15,876,309	15,750,165	15,843,122
全国順位	10	10	10	10	10	10	10	10	10	(速報)	(速報)
一人当たり県民所得(千円)	3,481	3,522	3,521	3,278	2,976	3,149	3,199	3,195	3,326	3,314	3,278
全国順位	3	3	3	2	4	3	3	3	3	(速報)	(速報)

※各年度の数値は「県民経済計算について(内閣府 経済社会総合研究所)」による。

○静岡県の製造品出荷額の推移

(単位：億円、%)

項目	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
静岡県製造品出荷額	173,227	182,347	194,103	191,777	150,510	157,931	143,915	157,077	156,991	160,507	-
全国順位	3	3	3	3	2	3	4	4	4	4	-
全国製造品出荷額	2,958,003	3,146,194	3,367,566	3,355,788	2,652,590	2,891,077	2,765,616	2,887,276	2,920,921	3,051,400	-
本県シェア	5.9	5.8	5.8	5.7	5.7	5.5	5.2	5.4	5.4	5.3	-

※各年度の数値は経済産業省公表の「工業統計表産業編(概要版)」による。

静岡県に関する各種指標統計

区分	項目	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
県勢基本	静岡県人口数（千人）	3,749	3,735	3,723	3,705	3,701
	全国順位	10	10	10	10	10
	合計特殊出生率（人） （千人当たり）	1.49	1.52	1.53	1.50	—
	全国順位	17	15	15	18	—
経済産業	県内総生産（億円）	155,654	155,009	158,763	157,502	158,431
	全国順位	10	10	10	（速報）	（速報）
	製造品出荷額等（億円）	149,497	157,077	156,991	160,507	—
	全国順位	4	4	4	4	—
	実質経済成長率（%）	1.7	-0.3	2.2	-1.8	-1.0
	全国数値（%）	0.4	1.0	2.1	-0.9	0.8
	医薬品生産額（億円）	5,895	6,462	6,208	4,835	—
	全国順位	2	2	2	4	—
	医療機器生産額（億円）	3,449	3,652	3,739	3,865	—
	全国順位	1	1	1	1	—
	化粧品生産額（億円）	1,681	1,738	1,858	3,147	4,045
	全国順位	3	3	2	1	1
	農業産出額（億円）	2,127	2,114	2,138	2,154	—
	全国順位	16	16	16	15	—
	海面漁業・養殖業生産額 （億円）	508	588	516	532	—
	全国順位	5	5	6	6	—
	ホテル・旅館数	3,528	3,464	3,344	3,233	—
	全国順位	1	1	1	1	—

区分	項目	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
経済産業	企業立地件数	37	65	50	53	55
	全国順位	3	1	3	3	4
	有効求人倍率	0.65	0.79	0.90	1.10	1.21
	全国数値	0.68	0.82	0.97	1.11	1.23
	完全失業率（%）	3.6	3.4	3.2	2.7	2.7
	全国数値	4.6	4.3	4.0	3.6	3.4
教育	大学・短大学生数（人）	38,268	38,053	38,254	38,162	38,229
	全国順位	16	16	16	16	15
	大学・短大等進学率（%）	54.1	53.2	53.0	53.1	53.9
	全国順位	18	17	15	17	17
	図書館数	95	96	96	97	97
全国順位	—	—	—	—	—	
・くらし環境し	エコアクション21認証登録 事業者数（件）	895	944	976	935	960
	全国順位	1	1	1	1	1
健康福祉	国民医療費（千円） （1人当たり）	276	—	—	—	—
	全国順位（昇順）	8	—	—	—	—
	1日平均在院・外来患者数（人） （10万人当たり）	1,666	1,652	1,464	1,461	—
	全国順位（昇順）	3	3	3	3	—
	生活保護率（‰）	5.6	5.9	6.2	6.4	—
全国順位（昇順）	9	9	9	9	—	
行政	市町村への事務移譲実施数	128	120	124	126	128
	全国順位	1	1	1	1	1

平成27年度 富士山静岡空港 就航先・搭乗率の状況

路線		提供座席数(席)	搭乗者数(人)	搭乗率(%)	
国内線	札幌線		139,687	81,166	58.1
		FDA	20,020	14,747	73.7
		ANA	119,667	66,419	55.5
	福岡線	FDA	215,920	126,896	58.8
	鹿児島線	FDA	39,972	23,363	58.4
	沖縄線	ANA	119,832	68,656	57.3
	チャーター便		11,440	9,002	78.7
	国内線計		526,851	309,083	58.7
国際線	ソウル線	アジアナ航空	51,606	39,667	76.9
	上海線・武漢線	中国東方航空	132,266	73,956	55.9
	天津線	天津航空	78,480	59,404	75.7
	寧波線	中国東方航空	48,048	34,897	72.6
	武漢・南寧線	中国南方航空	25,264	14,735	58.3
	南寧線(直行便)	中国南方航空	12,136	7,363	60.7
	西安線	天津航空	16,560	11,323	68.4
	鄭州線	中国南方航空	4,890	3,607	73.8
	温州線	中国東方航空	18,408	9,843	53.5
	長沙線	中国南方航空	8,816	5,603	63.6
	杭州線		42,222	29,933	70.9
		北京首都航空	35,670	26,339	73.8
		中国東方航空	6,552	3,594	54.9
	南京線	中国東方航空	20,904	11,149	53.3
	塩城・海口線	北京首都航空	15,408	6,667	43.3
	石家荘線	北京首都航空	4,332	3,084	71.2
	合肥線	中国東方航空	1,560	513	32.9
	濟南線	北京首都航空	348	226	64.9
	台北線	チャイナエアライン	66,328	51,870	78.2
	チャーター便		31,178	25,729	82.5
	国際線計		578,754	389,569	67.3
	合計		1,105,605	698,652	63.2

※欠航便、ダイバート便(他空港への降客)、引き返し便を除く。

■ 年度別搭乗者数

(単位:千人)

区分	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
国内線	352	316	266	251	293	305	309
国際線	176	239	146	196	166	244	390
合計	528	555	412	447	459	549	699

平成27年度一般会計 歳入決算の状況

(単位:百万円・%)

区 分	平成27年度 決算	平成26年度 決算	比 較	伸 率	構 成 比	
					平成27年度	平成26年度
歳 入 決 算 額	1,227,284	1,196,739	30,545	2.6	100.0	100.0
県税	488,268	447,769	40,499	9.0	39.8	37.4
地方消費税清算金	149,570	91,403	58,167	63.6	12.2	7.6
地方譲与税	65,834	72,420	△ 6,586	△ 9.1	5.4	6.1
地方特例交付金	1,650	1,612	38	2.4	0.1	0.1
地方交付税	151,525	155,558	△ 4,033	△ 2.6	12.4	13.0
交通安全対策特別交付金	1,260	1,163	97	8.3	0.1	0.1
分担金及び負担金	2,936	2,588	348	13.4	0.2	0.2
使用料及び手数料	14,632	12,181	2,451	20.1	1.2	1.0
国庫支出金	127,041	128,925	△ 1,884	△ 1.5	10.4	10.8
財産収入	3,095	2,488	607	24.4	0.3	0.2
寄附金	107	5,318	△ 5,211	△ 98.0	0.0	0.5
繰入金	33,842	39,035	△ 5,193	△ 13.3	2.7	3.3
繰越金	16,660	23,013	△ 6,353	△ 27.6	1.4	1.9
諸収入	25,242	27,356	△ 2,114	△ 7.7	2.0	2.3
県債	145,622	185,910	△ 40,288	△ 21.7	11.8	15.5

平成28年度一般会計 歳入予算の状況

(単位:百万円・%)

区 分		平成28年度 当初予算	平成27年度 当初予算	比 較	伸 率	構 成 比	
						平成28年度	平成27年度
歳 出 規 模		1,240,928	1,239,700	1,228	0.1	100.0	100.0
一 般 財 源 等	県税	496,000	482,000	14,000	2.9	40.0	38.9
	地方消費税清算金	136,855	138,207	△ 1,352	△ 1.0	11.0	11.2
	地方譲与税	59,000	63,300	△ 4,300	△ 6.8	4.8	5.1
	地方特例交付金	1,711	1,500	211	14.1	0.1	0.1
	地方交付税	152,500	131,500	21,000	16.0	12.3	10.6
	臨時財政対策債	80,000	103,000	△ 23,000	△ 22.3	6.4	8.3
	その他	27,812	24,789	3,023	12.2	2.3	2.0
	計	953,878	944,296	9,582	1.0	76.9	76.2
特 定 財 源	国庫支出金	136,143	132,342	3,801	2.9	11.0	10.7
	県債	64,880	63,165	1,715	2.7	5.2	5.1
	繰入金	54,452	68,678	△ 14,226	△ 20.7	4.4	5.5
	その他	31,575	31,219	356	1.1	2.5	2.5
	計	287,050	295,404	△ 8,354	△ 2.8	23.1	23.8

一般会計 歳入決算の推移

(単位:億円・%)

区分	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度
県税	4,176	4,254	4,377	4,565	4,882	5,669	5,412	4,178	4,017	3,979	4,063	4,232	4,478	4,883	4,960
構成比	34.1	35.9	37.5	40.3	43.0	49.6	47.3	34.4	34.4	34.6	35.2	35.9	37.4	39.8	40.0
地方交付税	2,050	1,918	1,652	1,691	1,442	1,280	1,161	1,484	1,683	1,640	1,647	1,555	1,556	1,515	1,525
構成比	16.7	16.2	14.1	14.9	12.7	11.2	10.1	12.2	14.4	14.3	14.3	13.2	13.0	12.4	12.3
国庫支出金	2,061	1,901	1,805	1,543	1,274	1,177	1,301	2,020	1,493	1,365	1,311	1,455	1,289	1,270	1,361
構成比	16.8	16.0	15.5	13.6	11.2	10.3	11.4	16.6	12.8	11.9	11.4	12.3	10.8	10.4	11.0
県債	1,941	1,862	1,676	1,348	1,254	1,425	1,837	2,340	2,197	1,952	2,051	1,989	1,859	1,456	1,449
通常債	1,524	1,125	1,150	945	890	1,096	1,437	1,506	657	716	781	692	619	580	501
特例債	417	737	526	403	364	329	400	809	1,518	1,221	1,259	1,284	1,211	838	800
病院債	—	—	—	—	—	—	—	25	22	15	11	13	29	38	148
構成比	15.9	15.7	14.4	11.9	11.1	12.5	16.1	19.3	18.8	17.0	17.8	16.8	15.5	11.8	11.6
その他	2,008	1,921	2,162	2,179	2,490	1,877	1,724	2,124	2,295	2,562	2,456	2,573	2,785	3,149	3,114
構成比	16.5	16.2	18.5	19.3	22.0	16.4	15.1	17.5	19.6	22.2	21.3	21.8	23.3	25.6	25.1
計	12,236	11,856	11,672	11,326	11,342	11,428	11,435	12,146	11,685	11,498	11,528	11,804	11,967	12,273	12,409

※平成28年度は当初予算

※県債のうち「特例債」は、臨時財政対策債、NTT無利子貸付金

一般会計 歳入(県税)決算の推移

(単位:億円・%)

区分	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度
個人県民税	699	673	677	724	812	1,460	1,510	1,492	1,344	1,324	1,371	1,468	1,484	1,494	1,520
構成比	16.7	15.8	15.5	15.9	16.6	25.8	27.9	35.7	33.5	33.3	33.7	34.7	33.1	30.6	30.6
法人二税	1,343	1,534	1,620	1,818	2,046	2,184	1,988	885	893	913	953	1,049	1,257	1,280	1,347
構成比	32.2	36.1	37.0	39.8	41.9	38.5	36.7	21.2	22.2	22.9	23.5	24.8	28.1	26.2	27.2
その他	2,134	2,047	2,080	2,023	2,024	2,025	1,914	1,801	1,780	1,742	1,739	1,715	1,737	2,109	2,093
構成比	51.1	48.1	47.5	44.3	41.5	35.7	35.4	43.1	44.3	43.8	42.8	40.5	38.8	43.2	42.2
計	4,176	4,254	4,377	4,565	4,882	5,669	5,412	4,178	4,017	3,979	4,063	4,232	4,478	4,883	4,960

(参考)

地方法人 特別譲与税	-	-	-	-	-	-	-	195	431	463	478	579	698	630	563
合計	4,176	4,254	4,377	4,565	4,882	5,669	5,412	4,373	4,448	4,442	4,541	4,811	5,176	5,513	5,523

※平成28年度は当初予算

平成27年度一般会計 歳出(分析別)決算の状況

(単位:百万円・%)

区 分		平成27年度 決算	平成26年度 決算	比 較	伸 率	構 成 比	
						平成27年度	平成26年度
歳 出 決 算 額		1,213,589	1,180,079	33,510	2.8	100.0	100.0
義務的経費	人件費	363,139	358,468	4,671	1.3	29.9	30.4
	扶助費	100,291	92,901	7,390	8.0	8.3	7.9
	公債費	181,207	179,928	1,279	0.7	14.9	15.2
	災害復旧費	3,186	4,042	△ 856	△ 21.2	0.2	0.3
	計	647,823	635,339	12,484	2.0	53.3	53.8
義務的経費以外	投資的経費	157,181	170,497	△ 13,316	△ 7.8	13.0	14.5
	公共・直轄	82,506	87,930	△ 5,424	△ 6.2	6.8	7.5
	単独等	74,675	82,567	△ 7,892	△ 9.6	6.2	7.0
	その他の経費	408,585	374,243	34,342	9.2	33.7	31.7
	計	565,766	544,740	21,026	3.9	46.7	46.2

平成27年度一般会計 歳出(款別)決算の状況

(単位:百万円・%)

区 分	平成27年度 決算	平成26年度 決算	比 較	伸 率	構 成 比	
					平成27年度	平成26年度
議会費	1,907	1,966	△ 59	△ 3.0	0.2	0.2
経営管理費	32,289	66,118	△ 33,829	△ 51.2	2.7	5.6
企画広報費	8,961	7,982	979	12.3	0.7	0.7
くらし・環境費	7,118	7,545	△ 427	△ 5.7	0.6	0.6
文化・観光費	9,182	12,147	△ 2,965	△ 24.4	0.8	1.0
健康福祉費	223,044	208,310	14,734	7.1	18.4	17.7
経済産業費	37,805	35,961	1,844	5.1	3.1	3.0
交通基盤費	132,641	147,870	△ 15,229	△ 10.3	10.9	12.5
危機管理費	7,770	6,337	1,433	22.6	0.6	0.5
警察費	77,036	75,680	1,356	1.8	6.3	6.4
教育費	300,159	302,780	△ 2,621	△ 0.9	24.7	25.7
災害対策費	3,291	4,161	△ 870	△ 20.9	0.3	0.4
公債費	181,207	179,928	1,279	0.7	14.9	15.2
諸支出金	191,179	123,294	67,885	55.1	15.8	10.5
計	1,213,589	1,180,079	33,510	2.8	100.0	100.0

平成28年度一般会計 歳出(分析別)予算の状況

(単位:百万円・%)

区 分		平成28年度 当初予算	平成27年度 当初予算	比 較	伸 率	構 成 比	
						平成28年度	平成27年度
歳 出 総 額		1,240,928	1,239,700	1,228	0.1	100.0	100.0
義務的経費	人件費	361,400	363,100	△ 1,700	△ 0.5	29.1	29.3
	扶助費	103,995	100,514	3,481	3.5	8.4	8.1
	公債費	185,487	183,806	1,681	0.9	14.9	14.8
	災害復旧費	8,532	9,350	△ 818	△ 8.7	0.7	0.8
	計	659,414	656,770	2,644	0.4	53.1	53.0
税収関連法定経費		183,884	184,220	△ 336	△ 0.2	14.8	14.9
義務的経費・ 法定経費・ 税収関連 以外	投資的経費	169,833	174,608	△ 4,775	△ 2.7	13.7	14.1
	うち 公共・直轄	89,988	96,623	△ 6,635	△ 6.9	7.2	7.8
	うち 単独	79,054	77,018	2,036	2.6	6.4	6.2
	その他の経費	227,797	224,102	3,695	1.6	18.4	18.0
	計	397,630	398,710	△ 1,080	△ 0.3	32.1	32.1

平成28年度一般会計 歳出(款別)予算の状況

(単位:百万円・%)

区 分	平成28年度 当初予算	平成27年度 当初予算	比 較	伸 率	構 成 比	
					平成28年度	平成27年度
議会費	2,010	1,982	28	1.4	0.2	0.2
経営管理費	29,495	32,086	△ 2,591	△ 8.1	2.4	2.6
政策企画費	11,727	—	11,727	皆増	0.9	—
くらし・環境費	8,746	7,984	762	9.6	0.7	0.6
文化・観光費	13,051	10,891	2,160	19.8	1.1	0.9
健康福祉費	234,820	229,850	4,970	2.2	18.9	18.5
経済産業費	47,294	40,643	6,651	16.4	3.8	3.3
交通基盤費	126,252	145,436	△ 19,184	△ 13.2	10.2	11.7
危機管理費	6,334	5,473	861	15.7	0.5	0.4
警察費	78,354	78,765	△ 411	△ 0.5	6.3	6.4
教育費	305,799	300,882	4,917	1.6	24.6	24.3
災害対策費	8,657	9,475	△ 818	△ 8.6	0.7	0.8
公債費	185,487	183,806	1,681	0.9	15.0	14.8
諸支出金	181,602	182,577	△ 975	△ 0.5	14.6	14.7
予備費	1,300	300	1,000	333.3	0.1	0.0
企画広報費	—	9,550	△ 9,550	皆減	—	0.8
計	1,240,928	1,239,700	1,228	0.1	100.0	100.0

一般会計 歳出決算の推移

(単位:億円・%)

区 分	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度
義務的経費	6,420	6,258	6,293	6,205	6,165	6,216	6,191	6,177	6,227	6,299	6,325	6,264	6,353	6,478	6,594
構成比	53.0	53.5	54.5	55.3	54.9	54.9	54.6	51.3	54.0	55.5	55.7	54.1	53.8	53.3	53.1
人件費	4,042	3,903	3,900	3,907	3,923	3,932	3,863	3,765	3,729	3,718	3,683	3,561	3,585	3,631	3,614
構成比	33.4	33.4	33.8	34.9	34.9	34.8	34.0	31.3	32.3	32.8	32.4	30.8	30.4	29.9	29.1
扶助費	609	537	568	564	626	659	686	724	774	810	851	888	929	1,003	1,040
構成比	5.0	4.6	4.9	5.0	5.6	5.8	6.1	6.0	6.7	7.1	7.5	7.7	7.9	8.3	8.4
公債費	1,684	1,727	1,735	1,651	1,579	1,588	1,608	1,678	1,697	1,715	1,714	1,776	1,799	1,812	1,855
構成比	13.9	14.7	15.0	14.7	14.1	14.0	14.2	13.9	14.7	15.1	15.1	15.3	15.2	14.9	14.9
災害復旧費	85	91	90	83	37	37	34	10	27	56	77	39	40	32	85
構成比	0.7	0.8	0.8	0.7	0.3	0.3	0.3	0.1	0.2	0.5	0.7	0.3	0.3	0.2	0.7
投資的経費	3,146	2,771	2,577	2,278	2,186	2,106	2,025	1,921	1,734	1,628	1,688	1,912	1,705	1,572	1,698
構成比	26.0	23.7	22.3	20.3	19.5	18.6	17.9	16.0	15.1	14.3	14.9	16.5	14.5	13.0	13.7
公共・直轄	1,748	1,495	1,373	1,195	1,114	1,006	897	892	920	903	935	1,024	879	825	900
構成比	14.5	12.8	11.9	10.7	9.9	8.9	7.9	7.4	8.0	8.0	8.3	8.9	7.5	6.8	7.2
単独等	1,398	1,276	1,204	1,083	1,072	1,100	1,128	1,029	814	725	753	887	826	747	798
構成比	11.5	10.9	10.4	9.6	9.6	9.7	10.0	8.6	7.1	6.4	6.6	7.7	7.0	6.2	6.5
その他	2,543	2,664	2,683	2,729	2,870	3,002	3,124	3,942	3,580	3,422	3,347	3,398	3,743	4,086	4,117
構成比	21.0	22.8	23.2	24.4	25.6	26.5	27.5	32.7	31.0	30.2	29.4	29.4	31.7	33.7	33.2
計	12,109	11,693	11,553	11,212	11,221	11,324	11,340	12,040	11,541	11,349	11,360	11,574	11,801	12,136	12,409
形式収支 (歳入－歳出)	127	163	119	114	121	104	95	106	144	148	168	230	167	137	－
実質収支	53	60	62	57	59	61	57	57	58	56	60	112 (62)	58	57	－

※平成28年度は当初予算

※各年度の決算は、前年度からの繰越を含み、翌年度への繰越を含まない。

※実質収支は、形式収支から翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた額

※平成25年度の実質収支の()書きは、平成26年度予算に計上している寄附金のうち、平成25年度に受け入れた50億円を除いた額

(参考)一般会計 歳出予算(最終)の推移

(単位:億円・%)

区 分	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度
義務的経費	6,446	6,275	6,338	6,202	6,169	6,259	6,194	6,205	6,261	6,351	6,345	6,285	6,389	6,476	6,594
構成比	53.5	53.7	54.5	55.1	54.6	54.9	54.1	50.3	53.9	55.2	54.2	54.5	53.4	53.3	53.1
人件費	4,060	3,914	3,908	3,914	3,936	3,951	3,881	3,778	3,749	3,734	3,722	3,575	3,604	3,643	3,614
構成比	33.7	33.5	33.6	34.7	34.9	34.7	33.9	30.7	32.3	32.4	31.8	31.0	30.1	30.0	29.1
扶助費	613	541	573	570	637	664	689	730	776	813	854	892	935	1,007	1,040
構成比	5.1	4.6	4.9	5.1	5.6	5.8	6.0	5.9	6.7	7.1	7.3	7.7	7.8	8.3	8.4
公債費	1,692	1,732	1,744	1,654	1,581	1,588	1,609	1,680	1,698	1,716	1,714	1,776	1,800	1,812	1,855
構成比	14.0	14.8	15.0	14.7	14.0	13.9	14.1	13.6	14.6	14.9	14.6	15.4	15.1	14.9	14.9
災害復旧費	81	88	113	64	15	56	15	17	38	88	55	42	50	14	85
構成比	0.7	0.8	1.0	0.6	0.1	0.5	0.1	0.1	0.3	0.8	0.5	0.4	0.4	0.1	0.7
税収関連法定経費	994	1,036	1,147	1,129	1,174	1,272	1,186	1,166	1,139	1,135	1,112	1,155	1,284	1,932	1,839
構成比	8.3	8.9	9.9	10.0	10.4	11.1	10.4	9.5	9.8	9.8	9.5	10.0	10.8	15.9	14.8
投資的経費	3,021	2,700	2,546	2,286	2,220	2,112	2,072	2,078	1,713	1,684	1,966	1,791	1,703	1,541	1,698
構成比	25.1	23.1	21.9	20.3	19.6	18.5	18.1	16.9	14.8	14.6	16.8	15.5	14.2	12.7	13.7
公共・直轄	1,684	1,419	1,336	1,197	1,122	992	907	987	983	941	1,196	886	866	800	900
構成比	14.0	12.1	11.5	10.6	9.9	8.7	7.9	8.0	8.5	8.2	10.2	7.7	7.2	6.6	7.2
単独等	1,337	1,281	1,210	1,089	1,098	1,120	1,165	1,091	730	743	770	905	837	741	798
構成比	11.1	11.0	10.4	9.7	9.7	9.8	10.2	8.9	6.3	6.4	6.6	7.8	7.0	6.1	6.5
その他	1,585	1,666	1,590	1,639	1,738	1,767	1,990	2,873	2,502	2,353	2,289	2,313	2,582	2,202	2,278
構成比	13.1	14.3	13.7	14.6	15.4	15.5	17.4	23.3	21.5	20.4	19.5	20.0	21.6	18.1	18.4
計	12,046	11,677	11,621	11,256	11,301	11,410	11,442	12,322	11,615	11,523	11,712	11,544	11,958	12,151	12,409

※平成28年度は当初予算

平成27年度 特別会計決算の状況

(単位:百万円)

区 分	会計の概要	歳入(A)	歳出(B)	差引(A)-(B)	差引の理由
公債管理	県債の償還金・利子の支払、県債管理基金への積立	460,064	460,064	0	—
自動車税等証紙徴収事務	自動車税及び自動車取得税の証紙徴収分の一般会計への振替	3,753	3,753	0	—
市町振興助成事業	市町が実施する地震防災対策事業などに必要な資金の貸付	1,745	1,745	0	—
県営住宅事業	県営住宅の管理、修繕等	11,972	11,809	163	県営住宅の建替・修繕工事等における執行残及び翌年度繰越による
母子父子寡婦福祉資金	母子家庭等を対象とした生活資金、修学資金の貸付	661	636	25	資金の借入需要が見込を下回ったことによる
心身障害者扶養共済事業	心身障害者への年金の支給	657	656	1	年金の支給が見込を下回ったことによる
就農支援資金	青年等の就農促進のための資金の貸付	334	334	0	—
林業改善資金	林業及び木材産業の生産の高度化等を図るための資金の貸付	311	39	272	資金の借入需要が見込を下回ったことによる
沿岸漁業改善資金	沿岸漁業の振興を図るための資金の貸付	194	15	179	資金の借入需要が見込を下回ったことによる
中小企業高度化資金貸付事業等	中小企業の創業や経営基盤強化を支援するための資金の貸付	7,269	2,042	5,227	資金の借入需要が見込を下回ったことによる
清水港等港湾整備事業	清水港などの荷役機械・上屋の整備、維持管理	5,458	5,390	68	清水港施設整備費等における執行残及び翌年度繰越による
流域下水道事業	流域下水道の整備、維持管理	9,724	9,562	162	狩野川東部等の流域下水道における執行残及び翌年度繰越による
物品調達事務等	本庁、出先における物品調達事務等	1,643	1,643	0	—
計		503,785	497,688	6,097	

平成27年度 公営事業会計決算の状況(収益的収支)

(単位:百万円)

区分	事業の概要	収益的収支(損益勘定)			内部留保資金
		収入	支出	収支差引	
工業用水道事業	県下10市町の346事業所に工業用水を供給するため、柿田川、富士川、東駿河湾、静清、中遠、西遠、湖西の7事業を実施	4,654	4,308	346	6,454
水道事業	県下10市町に長期的に安定した良質の生活用水を供給するため、駿豆・榛南・遠州の3事業を実施	7,044	5,882	1,162	5,998
地域振興整備事業	工場の再編整備、集団化や優良企業の誘致など地域発展のための工業用地の造成事業を市町の土地利用計画と整合を図りながら実施	134	139	△ 5	4,882
静岡がんセンター事業	本県がん対策の中枢を担う高度がん専門医療機関として病院、疾病管理センター、研究所を運営	31,367	31,541	△ 174	9,659
	計	43,199	41,870	1,329	26,993

平成27年度 公営事業会計決算の状況(資本的収支)

(単位:百万円)

区 分	事業の概要	資本的収支(資本勘定)				収支差引
		収入	企業債	支出	企業債償還金	
工業用水道事業	県下7工業用水道事業で、送水管 布設替工事等を実施(静岡、中遠、 西遠等)	314	284	1,757	1,010	△ 1,443
水道事業	県下3水道事業で送水管布設替工 事等を実施(榛南、遠州等)	565	497	3,285	1,400	△ 2,720
地域振興整備事業	小山湯船原工業団地の用地補償等 を実施	76	0	385	0	△ 309
静岡がんセンター事業	器械備品購入ほか	4,798	4,390	7,740	3,163	△ 2,942
	計	5,753	5,171	13,167	5,573	△ 7,414

地方公社の改革計画への取組

団体名	これまでの成果(～H27)	行財政改革大綱 (平成26年3月策定)
静岡県 土地開発 公社	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 事業規模に見合った定員管理に努めており、平成17年度から27年度までに職員12人を削減して11人体制とし、退職者分は嘱託員で対応 ◎ 平成24年度に策定した公社の目指すべき方向性を示した「将来ビジョン」について、有識者の意見等を取り入れて、毎年見直しを実施 ◎ 県からの受託用地事業(旧あっせん事業)の拡大については、平成26年度において県と協議を行い、県予算の許す範囲で対応することとなり、継続して事業を受託。 市町事業の受託拡大を図るため、県内全市町に対して受託活動を継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 国、県の用地先行取得業務を確実に受託するとともに、受託先の拡大を図るため、市町への調査や働き掛けを継続して実施 ◎ 県からのあっせん事業の継続受託に努め、県と公社が一体となった効率的な用地取得体制を確立。なお、県からのあっせん事業の拡大について、平成26年度に検討 ※平成26年度の検討結果については、「これまでの成果」に記載
静岡県 道路 公社	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 毎年度、事業規模に見合った組織編成を行い、効率化を図った。(職員数は22年度の41人から27年度の34人へと7人削減(約17%減)) ◎ 関東圏等での誘客キャンペーン実施、旅行誌への広告掲載、伊豆スカイライン周辺の国道交差点における電光表示板による案内情報の提供、観光・宿泊施設等へのロードマップの配布などにより誘客を図った。また、お客様アンケートに基づき、トイレの改修工事を実施した。 ◎ 毎年度点検評価を実施し、大綱に基づく見直し等について検証を受けた。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 採算性を確保し、着実な償還を実施 ◎ 地域の交通の課題を解決するための伊豆中央道改築事業の実施や、標識等の多言語化、施設のバリアフリー化など、伊豆スカイライン及び箱根スカイラインを再整備 ◎ 企画割引の実施や、他の事業者とのイベント協力などにより地域振興に貢献
静岡県 住宅供給 公社	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 重点課題ごとにプロジェクトチームを設置し、経営改善対策を検討 ・借上賃貸住宅の入居促進、割賦債権不良化防止 ◎ 事業規模に見合った定員管理に努め、退職者の不補充等で正規職員数を21年度から27年度までに6人削減 ◎ 住宅管理業務を主要事業として位置づけ、入居者のための生活支援事業の推進、住宅管理サービスの充実、市町の公営住宅の管理受託等を検討 ◎ 点検評価表を県ホームページで公開 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 公営住宅の管理を継続する一方、住宅や宅地の新規供給事業等については、役割を終えた清算事業として縮小、整理 ◎ 増加が著しい高齢・外国人入居者に対する支援を積極的に推進 ◎ 外部委託を希望する市町の公営住宅管理を新たに受託し、住宅情報の一元管理により県民サービスを向上

地方公社の決算状況

(単位:百万円)

区 分		静岡県土地開発公社		静岡県道路公社		静岡県住宅供給公社			
		平成26年度	平成27年度	平成26年度	平成27年度	平成26年度	平成27年度		
出資状況	出資団体数	1	1	15	15	4	4		
	出資金額	本県出資額	20	20	7,523	7,523	10	10	
		その他団体出資額	-	-	22	22	5	5	
		計	20	20	7,545	7,545	15	15	
貸借対照表	資産	流動資産	5,016	3,428	6,810	3,008	2,296	2,069	
		固定資産	2,227	1,945	28,796	32,995	4,857	3,135	
		繰延資産	-	-	28	23	-	-	
		小計	7,243	5,373	35,634	36,026	7,153	5,204	
	負債	流動負債	162	327	164	209	1,397	1,131	
		固定負債	4,589	2,516	2,182	1,697	4,781	2,982	
		特別法上の引当金等	-	-	19,086	19,936	-	-	
		小計	4,751	2,843	21,432	21,842	6,178	4,113	
	資本	資本金	20	20	7,545	7,545	15	15	
		剰余金	-	-	6,657	6,639	918	1,033	
		法定準備金等	2,472	2,510	-	-	-	-	
		小計	2,492	2,530	14,202	14,184	933	1,048	
	計	7,243	5,373	35,634	36,026	7,111	5,161		
	損益計算書	経常損益	営業収益 (a)	3,234	2,896	2,238	2,242	2,790	2,620
			営業費用 (b)	3,265	2,970	2,251	2,322	2,729	2,570
			営業利益 (c=a-b)	△ 31	△ 74	△ 13	△ 80	61	50
営業外収益 (d)			43	43	74	82	7	6	
営業外費用 (e)			-	-	25	20	29	13	
経常利益 (f=c+d-e)			12	△ 31	36	△ 18	39	43	
特別利益 (g)		0	-	-	-	96	77		
特別損失 (h)		-	-	-	-	10	5		
当期損益 (i=f+g-h)		12	△ 31	36	△ 18	125	115		

静岡県の外郭団体の経営状況

平成28年3月末現在
(単位: %、百万円)

○全団体の状況

形態	所管	出資割合50%以上				出資割合50%未満			
		出資法人	出資金額 (出資割合)	平成27年度 経常収支	資本又は 正味財産	出資法人	出資金額 (出資割合)	平成27年度 経常収支	資本又は 正味財産
財団・ 社団 法人	知事部局	(公財) 静岡県産業振興財団	4,977 (100.0)	▲ 89.4	8,244	(公社) 静岡県農業振興基金協会	2,000 (49.9)	1.4	2,090
		(一財) 静岡県労働福祉事業協会	2,194 (100.0)	17.1	1,968	(公財) 静岡県漁業振興基金	1,575 (48.0)	▲ 11.5	3,526
		(公財) 静岡県舞台芸術センター	1,320 (100.0)	▲ 37.2	1,603	(公社) 静岡県畜産協会	195 (37.1)	▲ 74.7	222
		(公財) 浜松地域イノベーション推進機構	1,023 (56.7)	16.4	2,283	(公財) 静岡県腎臓バンク	150 (48.8)	▲ 0.6	327
		(公財) 静岡県文化財団	900 (89.8)	24.5	1,313	(公財) 静岡県コンテナ輸送振興協会	35 (33.3)	▲ 0.3	109
		(公財) 静岡県国際交流協会	797 (86.8)	1.6	968	(公財) 静岡県生活衛生営業指導センター	3 (45.5)	▲ 1.5	140
		(公財) 世界緑茶協会	393 (100.0)	▲ 1.1	396	(公財) 浜名湖総合環境財団	50 (24.3)	▲ 30.3	661
		(公財) しずおか健康長寿財団	245 (77.0)	1.3	360				
		(公財) 静岡県障害者スポーツ協会	76 (75.4)	▲ 0.7	101				
		(公社) 静岡県緑化推進協会	50 (67.0)	▲ 1.8	97				
		(公社) 静岡県農業振興公社	50 (50.0)	▲ 1.4	59				
		(公財) 静岡県下水道公社	7 (50.0)	0.1	22				
		公安委員会	(公財) 静岡県暴力追放運動推進センター	660 (81.0)	8.4	912			
		教育委員会				(一財) 静岡県青少年会館	100 (40.0)	0.9	275
地方公社		静岡県道路公社	7,523 (99.7)	▲ 18.3	14,184				
		静岡県土地開発公社	20 (100.0)	▲ 30.6	2,530				
		静岡県住宅供給公社	10 (66.7)	43.4	1,048				
会社法人					天竜浜名湖鉄道(株)	250 (39.7)	▲ 138.4	178	
					(株)エイ・ピー・アイ	20 (39.0)	22.3	205	

※「外郭団体」とは、「県の出資割合が25%以上の法人」又は「県が出資し、職員を派遣をしている法人」

<参考>

形態	地方独立行政法人	出資金額 (出資割合)	平成27年度 経常収支	資本又は 正味財産
地方独立 行政法人	静岡県公立大学法人	22,361(100.0)	126.6	20,715
	公立大学法人静岡文化芸術大学	16,810(100.0)	▲ 13.1	14,385
	静岡県立病院機構	6,823 (100.0)	1,168.9	12,969

静岡県の外郭団体の経営状況

○平成27年度経常収支赤字法人

(単位:千円)

形態	出資法人	事業の概要	H27経常収支	公益目的事業収支 (公益法人のみ)	経常収支が赤字の理由	今後の収支改善の見通し
公益法人	(公財) 静岡県産業振興財団	・中小企業等の産業創出支援、経営基盤の強化 ・科学技術研究開発の促進 ・新産業集積クラスターの推進	▲ 89,440	▲ 77,877	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 公益法人認定基準を踏まえ、 公益目的事業費 ≥ 公益目的事業収入 とするため、計画的に赤字を計上 </div> ※公益認定基準【公益法人認定法 第5条第6項】 その行う公益目的事業について、当該公益目的事業に係る収入がその実施に要する適正な費用を償う額を超えないと見込まれるものであること	—
	(公財) 静岡県舞台芸術センター	静岡県の芸術文化振興のための演劇、舞踊等の舞台芸術に関する創造活動等	▲ 37,244	▲ 43,051		
	(公財) 世界緑茶協会	・茶文化の提案及び普及 ・世界の茶に関する情報の集積・発信	▲ 1,075	▲ 332		
	(公財) 静岡県障害者スポーツ協会	障害者スポーツの振興	▲ 741	▲ 841		
	(公社) 静岡県緑化推進協会	緑の募金の管理及び緑の募金による森林整備等への支援	▲ 1,756	▲ 1,756		
	(公社) 静岡県農業振興公社	・農地中間管理事業 ・青年農業者等育成事業	▲ 1,364	▲ 2,217		
	(公財) 静岡県漁業振興基金	漁業振興及び栽培漁業推進	▲ 11,531	▲ 5,927		
	(公財) 静岡県腎臓バンク	・腎臓移植の普及促進事業 ・腎臓移植と腎臓病に関する知識の普及啓発事業	▲ 622	▲ 657		
	(公財) 静岡県コンテナ輸送振興協会	静岡県浜松内陸コンテナ基地の管理運営	▲ 316	▲ 402		
	(公財) 静岡県生活衛生営業指導センター	生活衛生関係業者に対する指導	▲ 1,501	▲ 143		
	(公財) 浜名湖総合環境財団	浜名湖における船舶等の航行安全の確保、公共係留施設の管理運営	▲ 30,285	36,590 H26繰越分 66,875		
(公財) 静岡県畜産協会	家畜衛生、農家経営指導、肉用子牛及び肉用牛価格安定制度	▲ 74,677	▲ 74			
公社	静岡県道路公社	有料道路事業、一般自動車道事業及び高架下施設の管理・運営等	▲ 18,305		東京五輪自転車競技の伊豆開催に向け、平成27～31年度において、先行、集中的に施設改修を行う「新ブランドデザイン」の実施に伴い支出が増加したため	道路収入については、H27年度実績もほぼ前年並み水準を維持しており、集中投資が完了するH32年度以降は、単年度黒字を見込んでいる
	静岡県土地開発公社	・公有地取得事業 ・受託用地事業 ・公有地売却事業	▲ 30,565		毎年度受託していた国事業の実績がなかったことや、予定していた市からの受託事業が翌年度に先送りとなったため	国、県のみならず、市町からの公有地取得事業等の受注に努めるとともに、引き続き、事業規模に見合った効率的な組織の維持を図る
会社法人	天竜浜名湖鉄道(株)	地方鉄道線(天竜浜名湖線)の経営	▲ 138,447		老朽化した施設設備の更新による費用が増加したため	県と沿線市町が基金を造成し、会社が策定した「天竜浜名湖鉄道中期経営計画(H26～30年度)」に基づき計画的に支援しており、支援を含めたトータルの収支は均衡している

財政の中期試算

平成28年度当初予算策定時

1 財政の中期試算

(1) 試算の前提

- ① 経済成長率は、内閣府試算(平成28年1月「中長期の経済財政に関する試算」)に用いられた経済再生ケースとベースラインケースを前提とする。

(名目経済成長率)

(単位:%)

区 分	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
経済再生ケース	2.4	3.9	3.5	3.6
ベースラインケース	1.3	1.9	1.3	1.3

- ② 地方財政は、三位一体の改革以降、一般財源総額(地方税、地方交付税、臨時財政対策債等の合計額)が概ね同規模に固定されていることを踏まえ、一般財源総額が据え置かれるパターンを「パターン1」とし、また、本来の地方財政制度の機能が発揮されるパターン(義務的経費等の財政需要の増加が地方交付税に反映される場合)を「パターン2」として試算

(2) 試算結果

- 経常収支比率は、それぞれのケースのパターン2(地方財政制度機能発揮)では、徐々に改善していくが、パターン1(一般財源総額据置)では、義務的経費の増加等の影響により高止まりする。
- 将来負担比率、実質公債費比率については、いずれの試算も財政健全化法における健全基準を維持する。
- 県債残高(通常債)は、いずれの試算も着実に減少する。
- 財源不足額は、パターン2(地方財政制度機能発揮)では、中期的に解消していくが、パターン1(一般財源総額据置)では、概ね横ばいとなる。

財政の中期試算

平成28年度当初予算策定時

＜試算結果①：経済再生ケース＞

(単位：億円)

区分	項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
据一般 置財 パ タ ー ン 総 額	経常収支比率	95.6%	94.1%	93.3%	93.5%	93.6%
	実質公債費比率	13.4%	13.2%	13.3%	13.4%	13.8%
	県債残高(通常債) <small>注1</small>	16,099	15,672	15,214	14,765	14,331
	県債残高(全体) <small>注2</small>	27,217	27,050	26,599	26,020	25,265
	将来負担比率	219.1%	234.9%	233.1%	226.1%	217.4%
	財源不足額	△ 389	△ 433	△ 411	△ 398	△ 370
機地 能方 発財 揮政 パ タ ー ン 制 度	経常収支比率	95.6%	93.5%	92.1%	91.8%	91.1%
	実質公債費比率	13.4%	13.2%	13.2%	13.3%	13.5%
	県債残高(通常債) <small>注1</small>	16,099	15,672	15,214	14,765	14,331
	県債残高(全体) <small>注2</small>	27,217	27,050	26,599	26,020	25,265
	将来負担比率	219.1%	233.3%	229.4%	221.1%	210.2%
	財源不足額	△ 389	△ 393	△ 319	△ 267	△ 166

- (注) 1 臨時財政対策債は「実質的な地方交付税」とされているため、通常債から除外
 病院債は、県立病院の独立行政法人化に伴う県債であり、償還財源の全てが病院事業により措置されるため、通常債から除外
- 2 県債残高(全体)は、通常債、臨時財政対策債、病院債の合計

財政の中期試算

平成28年度当初予算策定時

＜試算結果②：ベースラインケース＞

（単位：億円）

区分	項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
据一般 置財 パ源 ター ン総 額	経常収支比率	95.6%	94.2%	93.5%	94.2%	94.7%
	実質公債費比率	13.4%	13.2%	13.3%	13.3%	13.6%
	県債残高(通常債) <small>注1</small>	16,099	15,672	15,214	14,765	14,331
	県債残高(全体) <small>注2</small>	27,217	27,105	26,802	26,458	26,027
	将来負担比率	219.1%	235.0%	233.8%	228.3%	221.6%
	財源不足額	△ 389	△ 435	△ 414	△ 419	△ 397
機地 能方 発財 揮政 パ制 ター ン度	経常収支比率	95.6%	93.8%	92.8%	93.1%	93.0%
	実質公債費比率	13.4%	13.2%	13.2%	13.2%	13.4%
	県債残高(通常債) <small>注1</small>	16,099	15,672	15,214	14,765	14,331
	県債残高(全体) <small>注2</small>	27,217	27,105	26,802	26,458	26,027
	将来負担比率	219.1%	233.9%	231.5%	224.9%	216.6%
	財源不足額	△ 389	△ 406	△ 355	△ 331	△ 260

- (注) 1 臨時財政対策債は「実質的な地方交付税」とされているため、通常債から除外
 病院債は、県立病院の独立行政法人化に伴う県債であり、償還財源の全てが病院事業により措置されるため、通常債から除外
- 2 県債残高(全体)は、通常債、臨時財政対策債、病院債の合計

財政の中期試算

平成28年度当初予算策定時

「財政の中期試算」の前提条件の推計方法

○ 経済成長率：内閣府試算（平成28年1月「中長期の経済財政に関する試算」）で用いられた名目経済成長率を使用

⇒ 経済再生ケース H29: 2.4%、H30: 3.9%、H31: 3.5%、H32: 3.6%
 ベースラインケース H29: 1.3%、H30: 1.9%、H31: 1.3%、H32: 1.3%

○ 推計方法

区 分		考え方
歳 出	人件費	増減員分、退職手当分は推計額 政令市内小中学校の教職員給与負担は政令市に移譲（29年度）
	扶助費	通常分 → 年平均伸び率3.4%（H25～26決算平均伸び率） 後期高齢者医療分・介護保険分・障害者自立支援分→推計額
	公債費	既発行分 → 積上げ 今後発行分 → 利率は、国の試算等（1.0%～3.9%）
	災害復旧費	28年度当初と同額
	税込関連法定経費	原則として税込に連動
	公共・直轄	公共・直轄分 → 前年×1.0+積上げ 単独（通常分） → 前年×1.0
	単独	単独（主要事業） → 積上げ
	その他の経費	原則として28年度当初と同額 社会保障関係費（扶助費以外）→地方消費税引上げを踏まえた推計額 選挙経費 → 実施年度の推計額
	（再掲） 総合計画の反映	後期アクションプランに示した今後2年間（H28～29）の主な取組を試算に反映
歳 入	県税	名目経済成長率×弾性値（1.1）+税制改正影響分（～28年度税制改正分） ・地方消費税率は29年4月に引上げ（1.7%→2.2%） ・個人県民税所得割の一部（現行4%のうち2%分）を29年度から政令市に移譲（教職員給与負担関係） ・個人県民税収入率 → 計画値
	地方消費税清算金	地方消費税に連動
	地方譲与税	名目経済成長率×弾性値（1.1）
	地方特例交付金	28年度当初と同額
	地方交付税 +臨時財政対策債	パターン1：28年度当初同額±税込増減収分+税込増減等の25%相当分を反映 ※一般財源総額は、28年度当初同額±特殊要因分（教職員給与負担政令市移譲分、個人県民税収入率向上分等） パターン2：パターン1+義務的経費の増分を反映
	国庫支出金	原則として歳出に連動
	県債	原則として歳出に連動
その他の歳入	原則として、28年度当初と同額 分担金・負担金 → 投資的経費に連動 県有財産売却収入 → 計画額	

財政の中期試算

財政の中期試算 経済再生ケース：パターン1（一般財源総額据置）

平成28年度当初予算策定時

試算方法：名目経済成長率 29年度 2.4% 30年度 3.9% 31年度 3.5% 32年度 3.6%

△印減額(単位:億円)

区 分		平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
		当初		前年度 増減額		前年度 増減額		前年度 増減額		前年度 増減額		前年度 増減額
歳	義務的経費	6,568	6,594	26	5,968	△ 626	5,995	27	6,011	16	6,063	52
	人件費	3,631	3,614	△ 17	2,930	△ 684	2,907	△ 23	2,877	△ 30	2,848	△ 29
	扶助費	1,005	1,040	35	1,073	33	1,108	35	1,144	36	1,180	36
	公債費	1,838	1,855	17	1,880	25	1,895	15	1,905	10	1,950	45
	災害復旧費	94	85	△ 9	85	0	85	0	85	0	85	0
	税収関連法定経費	1,842	1,839	△ 3	2,032	193	2,552	520	2,610	58	2,711	101
	義務的経費・税収関連経費以外	3,987	3,977	△ 10	4,113	136	4,022	△ 91	4,014	△ 8	3,954	△ 60
出	投資的経費	1,736	1,691	△ 45	1,893	202	1,771	△ 122	1,745	△ 26	1,686	△ 59
	公共・直轄	966	900	△ 66	842	△ 58	863	21	880	17	881	1
	単独	770	791	21	1,051	260	908	△ 143	865	△ 43	805	△ 60
	その他の経費	2,251	2,286	35	2,220	△ 66	2,251	31	2,269	18	2,268	△ 1
	合計 A	12,397	12,410	13	12,113	△ 297	12,569	456	12,635	66	12,728	93
	(再掲) ※総合計画の「主な取組」	1,940	1,985	45	1,797	△ 188	—	—	—	—	—	—
入	県税	4,820	4,960	140	4,905	△ 55	5,692	787	5,900	208	6,139	239
	うち法人事業税	1,102	1,182	80	1,289	107	1,742	453	1,815	73	1,891	76
	地方消費税清算金	1,382	1,369	△ 13	1,521	152	1,911	390	1,949	38	2,026	77
	地方譲与税	633	590	△ 43	435	△ 155	78	△ 357	30	△ 48	31	1
	地方交付税	2,345	2,325	△ 20	2,134	△ 191	1,922	△ 212	1,821	△ 101	1,663	△ 158
	うち臨時財政対策債	1,030	800	△ 230	609	△ 191	397	△ 212	296	△ 101	138	△ 158
	地方特例交付金	15	17	2	17	0	17	0	17	0	17	0
	国庫支出金	1,324	1,361	37	1,242	△ 119	1,240	△ 2	1,242	2	1,239	△ 3
	県債	632	649	17	737	88	667	△ 70	655	△ 12	636	△ 19
	その他の歳入	847	750	△ 97	689	△ 61	631	△ 58	623	△ 8	607	△ 16
合計 B	11,998	12,021	23	11,680	△ 341	12,158	478	12,237	79	12,358	121	
財源不足額 C=B-A	△ 399	△ 389	10	△ 433	△ 44	△ 411	22	△ 398	13	△ 370	28	

※ 総合計画基本計画に示した具体的取組のうち「主な取組」（再掲）

財政の中期試算

財政の中期試算 経済再生ケース：パターン2（地方財政制度機能発揮）

平成28年度当初予算策定時

試算方法：名目経済成長率 29年度 2.4% 30年度 3.9% 31年度 3.5% 32年度 3.6%

△印減額(単位:億円)

区 分		平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
		当初		前年度 増減額		前年度 増減額		前年度 増減額		前年度 増減額		前年度 増減額
歳	義務的経費	6,568	6,594	26	5,968	△ 626	5,995	27	6,011	16	6,063	52
	人件費	3,631	3,614	△ 17	2,930	△ 684	2,907	△ 23	2,877	△ 30	2,848	△ 29
	扶助費	1,005	1,040	35	1,073	33	1,108	35	1,144	36	1,180	36
	公債費	1,838	1,855	17	1,880	25	1,895	15	1,905	10	1,950	45
	災害復旧費	94	85	△ 9	85	0	85	0	85	0	85	0
	税収関連法定経費	1,842	1,839	△ 3	2,032	193	2,552	520	2,610	58	2,711	101
出	義務的経費・税収関連経費以外	3,987	3,977	△ 10	4,113	136	4,022	△ 91	4,014	△ 8	3,954	△ 60
	投資的経費	1,736	1,691	△ 45	1,893	202	1,771	△ 122	1,745	△ 26	1,686	△ 59
	公共・直轄	966	900	△ 66	842	△ 58	863	21	880	17	881	1
	単独	770	791	21	1,051	260	908	△ 143	865	△ 43	805	△ 60
	その他の経費	2,251	2,286	35	2,220	△ 66	2,251	31	2,269	18	2,268	△ 1
	合 計 A	12,397	12,410	13	12,113	△ 297	12,569	456	12,635	66	12,728	93
	(再掲) ※総合計画の「主な取組」	1,940	1,985	45	1,797	△ 188	—	—	—	—	—	—
入	県税	4,820	4,960	140	4,905	△ 55	5,692	787	5,900	208	6,139	239
	うち法人事業税	1,102	1,182	80	1,289	107	1,742	453	1,815	73	1,891	76
	地方消費税清算金	1,382	1,369	△ 13	1,521	152	1,911	390	1,949	38	2,026	77
	地方譲与税	633	590	△ 43	435	△ 155	78	△ 357	30	△ 48	31	1
	地方交付税	2,345	2,325	△ 20	2,174	△ 151	2,014	△ 160	1,952	△ 62	1,867	△ 85
	うち臨時財政対策債	1,030	800	△ 230	609	△ 191	397	△ 212	296	△ 101	138	△ 158
	地方特例交付金	15	17	2	17	0	17	0	17	0	17	0
	国庫支出金	1,324	1,361	37	1,242	△ 119	1,240	△ 2	1,242	2	1,239	△ 3
	県債	632	649	17	737	88	667	△ 70	655	△ 12	636	△ 19
	その他の歳入	847	750	△ 97	689	△ 61	631	△ 58	623	△ 8	607	△ 16
	合 計 B	11,998	12,021	23	11,720	△ 301	12,250	530	12,368	118	12,562	194
	財源不足額 C=B-A	△ 399	△ 389	10	△ 393	△ 4	△ 319	74	△ 267	52	△ 166	101

※ 総合計画基本計画に示した具体的取組のうち「主な取組」（再掲）

財政の中期試算

財政の中期試算 ベースラインケース：パターン1（一般財源総額据置）

平成28年度当初予算策定時

試算方法：名目経済成長率 29年度 1.3% 30年度 1.9% 31年度 1.3% 32年度 1.3%

△印減額(単位:億円)

区 分		平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
		当初		前年度 増減額		前年度 増減額		前年度 増減額		前年度 増減額		前年度 増減額
歳	義務的経費	6,568	6,594	26	5,969	△ 625	5,982	13	5,985	3	5,997	12
	人件費	3,631	3,614	△ 17	2,930	△ 684	2,907	△ 23	2,877	△ 30	2,848	△ 29
	扶助費	1,005	1,040	35	1,073	33	1,108	35	1,144	36	1,180	36
	公債費	1,838	1,855	17	1,881	26	1,882	1	1,879	△ 3	1,884	5
	災害復旧費	94	85	△ 9	85	0	85	0	85	0	85	0
	税収関連法定経費	1,842	1,839	△ 3	2,009	170	2,471	462	2,469	△ 2	2,504	35
出	義務的経費・税収関連経費以外	3,987	3,977	△ 10	4,112	135	4,017	△ 95	4,005	△ 12	3,939	△ 66
	投資的経費	1,736	1,691	△ 45	1,893	202	1,771	△ 122	1,745	△ 26	1,686	△ 59
	公共・直轄	966	900	△ 66	842	△ 58	863	21	880	17	881	1
	単独	770	791	21	1,051	260	908	△ 143	865	△ 43	805	△ 60
	その他の経費	2,251	2,286	35	2,219	△ 67	2,246	27	2,260	14	2,253	△ 7
	合 計 A	12,397	12,410	13	12,090	△ 320	12,470	380	12,459	△ 11	12,440	△ 19
(再掲) ※総合計画の「主な取組」		1,940	1,985	45	1,797	△ 188	—	—	—	—	—	—
入	県税	4,820	4,960	140	4,848	△ 112	5,507	659	5,576	69	5,661	85
	うち法人事業税	1,102	1,183	81	1,274	91	1,685	411	1,714	29	1,743	29
	地方消費税清算金	1,382	1,369	△ 13	1,503	134	1,848	345	1,842	△ 6	1,868	26
	地方譲与税	633	590	△ 43	430	△ 160	76	△ 354	28	△ 48	29	1
	地方交付税	2,345	2,325	△ 20	2,189	△ 136	2,070	△ 119	2,057	△ 13	1,986	△ 71
	うち臨時財政対策債	1,030	800	△ 230	664	△ 136	545	△ 119	532	△ 13	461	△ 71
	地方特例交付金	15	17	2	17	0	17	0	17	0	17	0
	国庫支出金	1,324	1,361	37	1,242	△ 119	1,240	△ 2	1,242	2	1,239	△ 3
	県債	632	649	17	737	88	667	△ 70	655	△ 12	636	△ 19
	その他の歳入	847	750	△ 97	689	△ 61	631	△ 58	623	△ 8	607	△ 16
合 計 B	11,998	12,021	23	11,655	△ 366	12,056	401	12,040	△ 16	12,043	3	
財源不足額 C=B-A		△ 399	△ 389	10	△ 435	△ 46	△ 414	21	△ 419	△ 5	△ 397	22

※ 総合計画基本計画に示した具体的取組のうち「主な取組」（再掲）

財政の中期試算

財政の中期試算 ベースラインケース：パターン2（地方財政制度機能発揮）

平成28年度当初予算策定時

試算方法：名目経済成長率 29年度 1.3% 30年度 1.9% 31年度 1.3% 32年度 1.3%

△印減額(単位:億円)

区 分		平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
		当初		前年度 増減額		前年度 増減額		前年度 増減額		前年度 増減額		前年度 増減額
歳	義務的経費	6,568	6,594	26	5,969	△ 625	5,982	13	5,985	3	5,997	12
	人件費	3,631	3,614	△ 17	2,930	△ 684	2,907	△ 23	2,877	△ 30	2,848	△ 29
	扶助費	1,005	1,040	35	1,073	33	1,108	35	1,144	36	1,180	36
	公債費	1,838	1,855	17	1,881	26	1,882	1	1,879	△ 3	1,884	5
	災害復旧費	94	85	△ 9	85	0	85	0	85	0	85	0
	税収関連法定経費	1,842	1,839	△ 3	2,009	170	2,471	462	2,469	△ 2	2,504	35
出	義務的経費・税収関連経費以外	3,987	3,977	△ 10	4,112	135	4,017	△ 95	4,005	△ 12	3,939	△ 66
	投資的経費	1,736	1,691	△ 45	1,893	202	1,771	△ 122	1,745	△ 26	1,686	△ 59
	公共・直轄	966	900	△ 66	842	△ 58	863	21	880	17	881	1
	単独	770	791	21	1,051	260	908	△ 143	865	△ 43	805	△ 60
	その他の経費	2,251	2,286	35	2,219	△ 67	2,246	27	2,260	14	2,253	△ 7
	合 計 A	12,397	12,410	13	12,090	△ 320	12,470	380	12,459	△ 11	12,440	△ 19
(再掲) ※総合計画の「主な取組」		1,940	1,985	45	1,797	△ 188	—	—	—	—	—	—
入	県税	4,820	4,960	140	4,848	△ 112	5,507	659	5,576	69	5,661	85
	うち法人事業税	1,102	1,183	81	1,274	91	1,685	411	1,714	29	1,743	29
	地方消費税清算金	1,382	1,369	△ 13	1,503	134	1,848	345	1,842	△ 6	1,868	26
	地方譲与税	633	590	△ 43	430	△ 160	76	△ 354	28	△ 48	29	1
	地方交付税	2,345	2,325	△ 20	2,218	△ 107	2,129	△ 89	2,145	16	2,123	△ 22
	うち臨時財政対策債	1,030	800	△ 230	664	△ 136	545	△ 119	532	△ 13	461	△ 71
	地方特例交付金	15	17	2	17	0	17	0	17	0	17	0
	国庫支出金	1,324	1,361	37	1,242	△ 119	1,240	△ 2	1,242	2	1,239	△ 3
	県債	632	649	17	737	88	667	△ 70	655	△ 12	636	△ 19
	その他の歳入	847	750	△ 97	689	△ 61	631	△ 58	623	△ 8	607	△ 16
合 計 B	11,998	12,021	23	11,684	△ 337	12,115	431	12,128	13	12,180	52	
財源不足額 C=B-A		△ 399	△ 389	10	△ 406	△ 17	△ 355	51	△ 331	24	△ 260	71

※ 総合計画基本計画に示した具体的取組のうち「主な取組」（再掲）

財政関係指標の推移(普通会計)

(単位: %)

区分		平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度
財政力 指数	本県	62.4	63.7	65.3	69.6	72.9	76.6	75.6	71.5	67.8	66.7	68.4	69.1	71.0
	全国	40.8	41.1	42.8	46.4	49.7	52.1	51.6	49.0	46.5	45.5	46.4	47.3	49.1
	順位	5	5	6	6	7	7	7	7	7	7	7	7	7
経常収支 比率	本県	87.3	91.9	90.9	90.8	93.6	92.5	93.3	89.7	94.9	94.2	92.9	91.0	94.9
	全国	89.1	92.4	92.8	93.6	96.7	95.3	95.2	90.9	93.9	94.1	93.1	93.0	-
	順位	15	21	10	4	5	7	9	17	32	25	22	6	-
実質赤字 比率	本県	-	-	-	-	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)
	全国	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	順位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
連年結 実質赤字 比率	本県	-	-	-	-	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)
	全国	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	順位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
実公債 費率	本県	-	-	12.9	12.4	11.6	11.7	13.1	14.3	15.3	15.0	14.9	14.5	14.0
	全国	-	-	14.5	14.4	14.0	13.9	14.4	14.8	15.1	14.8	14.6	13.1	-
	順位	-	-	14	10	9	10	16	20	24	25	27	26	-
将来負担 率	本県	-	-	-	-	247.3	248.1	262.6	251.8	248.2	241.1	239.1	229.8	223.2
	全国	-	-	-	-	235.1	234.8	235.6	218.7	214.9	208.4	200.9	187.0	-
	順位	-	-	-	-	30	28	32	36	35	35	37	36	-

(参考)

起債制限 率	本県	12.8	12.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	全国	12.5	12.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	順位	27	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※順位は、財政の健全性の高い都道府県から1位とした。

※指数及び比率の全国の数値は、単純平均の数値

財政関係指標の推移(普通会計)

【財政力指数】

地方公共団体の財政力を示す指数で、基準財政収入額(注1)を基準財政需要額(注2)で除して得た数値の過去3年間の平均値

(注1) 地方交付税の算定基礎となるもので、各地方公共団体が標準的な状態において徴収が見込まれる税収入を一定の方法により算定した額

(注2) 地方交付税の算定基礎となるもので、各地方公共団体が合理的かつ妥当な水準における行政を行い、又は施設を維持するための財政需要を一定の方法により合理的に算定した額

【経常収支比率】

地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、経常的経費に充当された一般財源の経常一般財源総額に対する割合

【実質赤字比率】

地方公共団体の財政運営の悪化度合いを示す指標で、当該地方公共団体の一般会計等(注3)を対象とした実質赤字額(注4)の標準財政規模に対する割合

(注3) 一般会計及び特別会計のうち普通会計に相当する会計

(注4) 実質赤字の額 = 繰上充用額 + (支払繰延額 + 事業繰越額)

【連結実質赤字比率】

地方公共団体全体としての財政運営の悪化度合いを示す指標で、すべての会計を対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する割合

【実質公債費比率】

地方公共団体における公債費による財政負担の度合いを客観的に示す指標で、地方債元利償還金相当額(注5)に充当された一般財源の標準財政規模等に対する割合
(普通交付税の算定において災害復旧費等として算入されるもの及び元利償還金が事業費補正により算入されるものを除く)の過去3年間の平均値

(注5) 地方債元利償還金に公営企業の元利償還金への一般会計からの繰出金等を加えた額

【将来負担比率】

地方公共団体の一般会計等が将来負担すべき実質的な負債を表す指標で、地方債残高や、将来の公営企業への繰出見込額、退職手当の支給予定額、第3セクターへの損失補償額等の合算額の標準財政規模等に対する割合

(普通交付税の算定において災害復旧費等として算入されるもの及び元利償還金が事業費補正により算入されるものを除く)

【起債制限比率】

地方公共団体における公債費による財政負担の度合いを判断する指標で、地方債元利償還金に充当された一般財源の標準財政規模等(注6)に対する割合
(普通交付税の算定において災害復旧費等として算入されるもの及び元利償還金が事業費補正により算入されるものを除く)の過去3年間の平均値

(注6) 地方公共団体の標準的な状態で通常収入されるであろう経常一般財源の規模を示すもので、標準税収入額等に普通交付税を加算した額である標準財政規模に臨時財政対策債発行可能額を加えた額

財政関係指標の推移(普通会計)

(単位:%)

区 分		平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度
自主財源比率	本県	48.0	47.4	50.7	50.6	51.0	53.0	57.3
	全国	49.9	50.4	49.4	50.9	51.1	53.5	55.9
	順位	12	12	10	10	10	10	7
地方税比率	本県	37.8	37.8	38.0	38.7	39.1	41.7	47.3
	全国	32.4	31.8	30.2	31.6	32.6	34.4	38.7
	順位	6	6	5	6	6	6	5
法人税比率	本県	7.5	7.8	8.1	8.4	9.0	10.7	11.0
	全国	6.6	6.0	5.8	6.3	6.8	7.7	8.4
	順位	7	4	5	5	5	5	5

※平成27年度は本県調査による。

【自主財源比率】

地方財政の自主性がどの程度発揮できるかを示す指標で、県が自主的に確保できる収入の歳入全体に対する割合

[地方税+分担金及び負担金+使用料及び手数料+財産収入+寄附金+繰入金+純繰越金(前年度実質収支)+諸収入]÷歳入合計

【地方税比率】

地方税収入の歳入全体に対する割合

【法人税比率】

地方税のうち法人二税(法人県民税・法人事業税)収入の歳入全体に対する割合

平成26年度 静岡県 の財務諸表

平成21年度財務諸表から、総務省が平成19年10月に公表した「新地方公会計制度実務研究報告書」における「基準モデル」に従って、貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書の財務4表を作成しています。

	総務省方式改訂モデル (H19・20決算)	基準モデル (H21決算～)
固定資産の 算定方法 (初年度期首残高)	○売却可能資産： 売却可能価格	○現存する固定資産をすべてリストアップし、公正価値により評価
固定資産の 算定方法 (継続作成時)	○売却可能資産以外： 過去の建設事業費の積み上げにより算定 ⇒段階的に固定資産情報を整備	○発生主義的な財務会計データから固定資産情報を作成
固定資産の 範囲	○当初は建設事業費の範囲 ⇒段階的に拡張し、立木、物品、地上権、ソフトウェアなどを含める	○すべての固定資産を網羅
台帳整備	○段階的整備を想定 ⇒売却可能資産、土地を優先	○開始貸借対照表作成時に整備、その後継続的に更新
財務諸表の 検証可能性	○台帳の段階的整備等により、検証可能性を高めることは可能	○開始時未分析残高を除き、財務諸表の数値から元帳、伝票に遡って検証可能

基準モデル移行への対応

- **すべての固定資産をリストアップ**
 - ・ 地上権、ソフトウェア等を追加
 - ・ 国道や河川等の国有財産を除外

- **所有する全資産について、公正価値評価に基づく価額により計上**

- **個々の取引情報を発生主義により複式記帳して財務諸表を作成**

平成26年度 財務諸表から見る静岡県の財政運営

★財務諸表の前年度比較により、平成26年度の静岡県の財政運営を検証

「貸借対照表」上の動き

- <資産> (+134億円)
●「基金」の増加 (+514億円)
●「事業用資産」の減少 (△62億円)
●「インフラ資産」の減少 (△201億円)
- <負債> (+500億円)
●「地方債」の増加 (+733億円)
 (内訳) 臨時財政対策債 (+1,083億円)
 その他の地方債 (△350億円)

「行政コスト計算書」上の動き

- <経常費用> (+143億円)
●「人件費」の増加 (+41億円)
●「補助金等移転支出」の増加 (+47億円)
- <経常収益・純経常費用>
●「経常収益」は横ばい (+5億円)
●「純経常費用」は増加 (+138億円)

静岡県の財政運営の状況

「貸借対照表」

○臨時財政対策債の発行により「地方債」は引き続き増加していることから、将来の償還や財政運営に備えるため、基金を積み増すなど健全財政の維持に努めた。

「行政コスト計算書」

○25年度に実施した職員給与削減措置の終了や給与改定等に伴う「人件費」の増加、介護給付費県負担金などの社会保障関係経費の増加等に伴う「補助金等移転支出」の増加により、「経常費用」は増加した。一方、使用料収入等の「経常収益」はほぼ横ばいだった。この結果、税込等により負担することとなる「純経常費用」は増加していることから、今後も、歳出のスリム化と歳入確保に、より一層取り組む必要がある。

平成26年度 静岡県の財務諸表（普通会計財務諸表）

貸借対照表

◆翌年度の期末・勤勉手当の内、当年度発生分を計上

(単位:億円)

	借方				貸方		
	26年度	25年度	26-25増減		26年度	25年度	26-25増減
【資産の部】				【負債の部】			
1 金融資産	7,670	7,273	397	1 流動負債	1,565	1,668	△ 103
(1) 資金	295	353	△ 58	(1) 賞与引当金	206	198	8
(2) 債権	653	708	△ 55	(2) 預り金	72	74	△ 2
税等未収金	108	128	△ 20	(3) 翌年度償還予定地方債	1,273	1,380	△ 107
未収金	16	16	0	(うち臨時財政対策債)	75	99	△ 24
貸付金	577	614	△ 37	(4) その他の流動負債	14	16	△ 2
貸倒引当金	△ 48	△ 50	2	2 非流動負債	33,201	32,598	603
(3) 投資等	6,722	6,212	510	(1) 地方債	29,944	29,104	840
出資金	1,345	1,349	△ 4	(うち臨時財政対策債)	10,044	8,937	1,107
基金	5,377	4,863	514	(2) 退職給付引当金	3,154	3,375	△ 221
2 非金融資産	33,715	33,978	△ 263	(3) 損失補償等引当金	15	19	△ 4
(1) 事業用資産	10,592	10,654	△ 62	(4) その他の非流動負債	88	100	△ 12
有形固定資産	10,574	10,631	△ 57	負債合計	34,766	34,266	500
(うち売却可能資産)	97	98	△ 1	【純資産の部】			
無形固定資産	18	23	△ 5	財源	△ 4,601	△ 3,869	△ 732
(2) インフラ資産	23,123	23,324	△ 201	資産形成充当財源	6,315	4,737	1,578
公共用財産用地	8,316	8,242	74	その他の純資産	4,905	6,117	△ 1,212
公共用財産施設等	14,807	15,082	△ 275	純資産合計	6,619	6,985	△ 366
資産合計	41,385	41,251	134	負債・純資産合計	41,385	41,251	134

◆県税や使用料などの未収金を計上

◆債権の内、回収が困難と見込まれる金額を過去の実績等から算定して控除

◆庁舎・県立高等学校・県営住宅など、将来的に資金流入が見込まれる資産を計上

◆県道・橋りょう、空港など、将来的に行政サービスを提供し、資金流入が見込まれない資産を計上

◆地方債残高は、翌年度償還予定分を流動負債に、それ以外を非流動負債に計上

◆全職員が年度末に退職すると仮定した場合に必要な金額を計上

★貸借対照表では、主に県が保有している「資産」と、将来世代が負担する「負債」の状況が確認できる

平成26年度 静岡県 の 財務諸表（普通会計財務諸表）

◆ 経常的に必要な費用を、人にかかるコスト、物にかかるコスト、県債の支払利息などに分類して計上

行政コスト計算書

（単位：億円）

区分	26年度	構成比	25年度	26-25増減	区分	26年度	費用比	25年度	26-25増減
1 経常業務費用	5,291	60.0%	5,201	90					
①人件費	3,428	38.9%	3,387	41	業務収益(使用料等)	262	3.0%	244	18
職員給料	2,483	28.2%	2,412	71	業務関連収益(受取利息等)	191	2.1%	204	△ 13
退職給付費用等	945	10.7%	975	△ 30					
②物件費	546	6.2%	551	△ 5	経常収益 B	453	5.1%	448	5
消耗品費・維持補修費等	290	3.3%	296	△ 6					
減価償却費	256	2.9%	255	1					
③経費	309	3.5%	300	9					
委託費	172	2.0%	177	△ 5					
貸倒引当金繰入等	137	1.5%	123	14					
④業務関連費用	1,008	11.4%	963	45					
公債費(利払分)	414	4.7%	425	△ 11					
その他	594	6.7%	538	56					
2 移転支出	3,526	40.0%	3,473	53					
①他会計等への支出等	26	0.3%	22	4					
②補助金等移転支出	3,357	38.1%	3,310	47					
③その他移転支出	143	1.6%	141	2					
経常費用 A	8,817	100.0%	8,674	143	純経常費用 A-B	8,364		8,226	138

◆ 補助金や社会保障関係経費など、対価性のない支出を計上

◆ 経常費用から経常収益を差し引いた額が、税金などの財源で賄われる金額になる。

★ 行政コスト計算書では、主に県が行政サービスを行うために必要な「経常費用」と、サービスの対価として受益者が負担する使用料などによる「経常収益」、その差額である「純経常費用」が確認できる

平成26年度 静岡県 の財務諸表（普通会計財務諸表）

資金収支計算書

(単位:億円)

区分	金額
I 経常的収支	1,193
1 経常的支出	8,350
2 経常的収入	9,543
II 資本的収支	△ 1,566
1 資本的支出	2,780
2 資本的収入	1,214
III 財務的収支	315
1 財務的支出	3,426
2 財務的収入	3,741
当期資金収支額	△ 58
期首資金残高	353
期末資金残高	295

◆人件費・物件費・補助金支出などの支出と、県税・地方交付税などの収入による収支を計上

◆基金や貸付金の出入りなどの収支を計上

◆地方債の発行や償還などによる収支を計上

★資金収支計算書では、1年間の現金の動きと年度末の残高(期末資金残高)を確認できる

純資産変動計算書

(単位:億円)

区分	金額
前期末残高	6,985
I 財源変動の部	△ 732
1 財源の使途	△ 11,787
2 財源の調達	11,055
II 資産形成充当財源変動の部	1,578
1 固定資産の変動	951
2 長期金融資産の変動	623
3 評価・換算差額等の変動	4
III その他の純資産の変動の部	△ 1,212
1 開始時未分析残高	△ 760
2 その他純資産の変動	△ 452
当期変動額合計	△ 366
当期末残高	6,619

◆純経常費用や資産形成に係る支出(財源の使途)と、税収、国庫補助金などの収入(財源の調達)を計上

◆資産の増減や評価損益を計上

★純資産変動計算書では、1年間の純資産の動きと年度末の残高(当期末残高)を確認できる。

純資産は、資産形成のためにこれまでの世代が負担してきたもので、それがどれだけ増減したか分かる

*ここに掲載している財務諸表は、要約版であり、それぞれの勘定科目の中で重要な科目について表したものとなっている。

平成26年度 静岡県 の財務諸表（連結財務諸表）

静岡県の連結財務諸表は、公営企業会計・公社・県が25%以上出資している法人等を連結対象として作成

【貸借対照表】

(単位:億円)

資産の部	金額	負債の部	金額
1 金融資産	7,659	1 流動負債	1,897
(1)資金	873	(1)未払金及び未払費用	118
(2)債権	625	(2)前受金及び前受収益	3
税等未収金	108	(3)賞与引当金	228
未収金	192	(4)翌年度償還予定地方債	1,399
貸付金・その他	378	(5)その他	149
貸倒引当金	△ 53	2 非流動負債	35,870
(3)有価証券	287	(1)地方債	31,406
(4)投資等	5,874	(2)借入金	10
出資金	186	(3)退職給付引当金	3,323
基金	5,377	(4)その他の引当金	121
その他	311	(5)その他	1,010
2 非金融資産	40,294		
(1)事業用資産	13,047	負債合計	37,767
有形固定資産	12,932	純資産の部	金額
無形固定資産・棚卸資産	115		
(2)インフラ資産等	27,247	純資産合計	10,186
公共用財産用地	8,789		
公共用財産施設	17,635		
その他	823		
資産合計	47,953	負債及び純資産合計	47,953

【純資産変動計算書】

(単位:億円)

区分	金額
前期末残高	11,395
I 財源変動の部	△ 1,226
II 資産形成充当財源の部	1,023
III その他の純資産の変動の部	△ 1,006
当期末残高	10,186

【資金収支計算書】

(単位:億円)

区分	金額
1 経常収支	1,494
2 資本的収支	△ 1,740
3 財務的収支	170
当期資金収支	△ 76
期首資金残高	949
期末資金残高	873

【行政コスト計算書】

(単位:億円)

金額	金額
1 経常業務費用	6,358
①人件費	3,821
職員給料	2,762
賞与引当金繰入	211
退職給付費用	59
その他	789
②物件費	1,016
消耗品費	157
維持補修費	215
減価償却費	355
その他	289
③経費	462
業務費	42
委託費	256
貸倒引当金繰入	0
その他	164
④業務関連費用	1,059
公債費(利払分)	443
借入金支払利息・その他	616
2 移転支出	3,291
経常費用 A	9,649
業務収益	1,082
業務関連収益	242
経常収益 B	1,324
純経常費用 A-B	8,325

※ここに掲載している財務諸表は要約版であり、それぞれの勘定科目の中で重要な科目について表したものとなっている。

県債残高の推移(一般会計、特別会計及び企業会計)

(単位: 億円)

区分	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度
一般会計(A)	20,519	21,184	21,283	21,419	21,505	21,732	22,346	23,782	24,685	25,317	26,048	26,650	27,091	27,099	27,209
通常債	19,930	19,858	19,508	19,296	19,045	18,994	19,272	19,610	19,100	18,643	18,248	17,741	17,182	16,598	16,094
通常債以外	589	1,326	1,775	2,123	2,460	2,738	3,074	4,172	5,585	6,674	7,800	8,909	9,909	10,501	11,115
特別会計(B)	1,286	1,208	1,446	1,373	1,282	1,259	1,224	1,153	1,124	1,074	1,059	970	946	903	793
県営住宅事業	-	-	299	281	262	247	242	220	213	199	195	193	192	203	202
母子父子寡婦福祉資金	17	19	19	20	21	21	22	23	25	28	29	30	32	33	35
就農支援資金	3	2	4	4	6	5	6	8	9	10	10	12	12	10	-
中小企業高度化資金貸付事業等	498	407	357	307	254	309	287	274	260	236	220	194	178	167	165
清水港等港湾整備事業	350	368	364	361	347	294	289	262	260	251	263	263	258	256	281
流域下水道事業	409	403	395	392	385	376	371	361	357	350	342	278	274	234	110
林業改善	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県営林事業	9	9	8	8	7	7	7	5	-	-	-	-	-	-	-
企業会計(C)	1,378	1,342	1,278	1,217	1,235	1,202	1,218	851	822	794	763	733	700	696	673
県立病院事業	234	243	247	256	327	347	379	-	-	-	-	-	-	-	-
がんセンター事業	516	519	508	519	487	452	443	469	466	457	445	432	416	428	416
工業用水道事業	186	182	178	172	165	157	149	141	133	125	117	111	106	99	98
水道事業	263	256	256	254	256	246	247	241	223	212	201	190	178	169	159
地域振興整備事業	179	142	89	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(A+B+C)	23,183	23,734	24,007	24,009	24,022	24,193	24,788	25,786	26,631	27,185	27,870	28,353	28,737	28,698	28,675

※県債残高の平成27年度以前は決算ベース、平成28年度は当初予算ベース

※通常債とは、臨時財政対策債、NTT無利子貸付金及び病院債を除いた県債

※平成16年度より県営住宅事業特別会計を設置

※県立病院事業会計は平成21年4月1日の地方独立行政法人化に伴い廃止。残高は一般会計に計上

※就農支援資金(平成22年度までは農業改良資金)は平成27年3月31日で廃止。残高は一般会計に計上

県民一人あたり県債残高(普通会計)

(単位: 千円)

区分	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度
本県	557.8	572.5	581.7	583.2	583.7	590.7	606.5	635.1	660.9	679.7	702.0	705.1	720.0	730.6
全国平均	588.6	610.2	624.0	622.2	622.4	626.4	631.3	651.6	675.1	683.0	696.6	698.6	698.6	-
順位	14	15	15	15	15	15	16	16	16	15	14	12	15	-

※順位は47都道府県のうち残高が少ない方から1位とした。

財政課所管基金の年度末残高の推移

(単位:億円)

区 分	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度
財政調整基金	84	128	125	116	106	32	88	88	89	89	89	89	89	89	70
県債管理基金	1,643	1,846	1,962	2,124	2,321	2,551	2,630	2,423	2,897	3,319	3,670	3,863	4,420	4,587	4,548
うち一般会計分	522	545	491	454	462	421	454	331	520	558	553	481	742	725	357
庁舎建設基金	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	59	59	55
土地開発基金	124	126	87	78	70	61	57	57	57	57	57	57	0	—	—
大規模地震災害対策基金	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19
合 計	1,873	2,122	2,196	2,340	2,519	2,666	2,797	2,590	3,065	3,487	3,838	4,031	4,587	4,754	4,692
うち一般会計分	752	821	725	670	660	536	621	498	688	726	721	649	909	892	501

※残高の平成27年度以前は決算ベース、平成28年度は当初予算ベース

※大規模地震による災害が発生した場合、災害復旧等に要する経費として、各基金より大規模地震災害対策基金に繰入れることが可能であることを条例において規定

※土地開発基金は、平成27年3月31日をもって廃止し、基金残額のうち現金分56億円を庁舎建設基金に積立て、土地分1億円は管財課に所管替え

減債基金への積立ての状況

積立ルール

3年据え置き後、県債発行額の3.7%(27分の1)を
毎年積み立て

(単位:億円)

区 分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
満期一括分残高(実償還ベース)	19,110	20,198	21,709	23,603	24,205	27,275	28,519	27,251	28,245	28,572
公募公債	13,124	14,374	16,937	18,474	19,883	22,583	24,289	23,800	24,400	24,600
銀行等引受債	5,986	5,824	4,772	5,129	4,322	4,692	4,230	3,451	3,845	3,972
積立残高	2,109	2,155	2,080	2,372	2,754	3,114	3,380	3,673	3,858	4,185

※ H27年度までは決算額、H28年度は当初予算額

プライマリーバランスの推移

○臨時財政対策債は、地方交付税の振替であるため、一般財源として算定

(単位:億円)

区分	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
歳入 A	11,428	11,435	12,146	11,685	11,498	11,528	11,804	11,967	12,273
県債	1,425	1,837	2,340	2,197	1,952	2,051	1,989	1,859	1,456
通常分 B	1,096	1,437	1,531	679	731	792	705	648	618
臨時財政対策債	329	400	809	1,518	1,221	1,259	1,284	1,211	838
財源不足額 C	158	4	156	30	40	35	101	40	18
差引 D(A-B-C)	10,174	9,994	10,459	10,976	10,727	10,701	10,998	11,279	11,637
歳出 E	11,324	11,340	12,040	11,541	11,349	11,360	11,574	11,801	12,136
公債費 F	1,588	1,608	1,678	1,697	1,715	1,714	1,776	1,799	1,812
差引 G(E-F)	9,736	9,732	10,362	9,844	9,634	9,646	9,798	10,002	10,324
プライマリーバランス H(D-G)	438	262	97	1,132	1,093	1,055	1,200	1,277	1,313

注1)各年度数値は決算額

注2)財源不足額は、財政課所管基金の取崩額

静岡県公募公債の発行状況

1.発行額の推移

(単位:億円)

区分	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
個別発行	5年債	200	200	200	600	400	400	300	900	500	400	600	300	400	400	300
	10年債	700	600	800	1,000	900	800	900	1,500	1,100	700	1,000	1,000	1,300	1,200	700
	15年債										100	200	200	300	200	100
	20年定時											100	300	100	100	
	20年債				200	300	200	400	300	200	300	400	200	100	400	200
	30年債						200	200	200	200	200	100	300	300	300	340
	年限未定															300
合計	900	800	1,000	1,800	1,600	1,600	1,800	2,900	2,000	1,700	2,300	2,100	2,700	2,600	2,040	
共同発行		400	600	600	600	600	600	600	800	600	600	600	600	300	300	
総計	900	1,200	1,600	2,400	2,200	2,200	2,400	3,500	2,800	2,300	2,900	2,700	3,300	2,900	2,340	

※平成28年度は予定額

2.発行条件の推移

(1)5年債

区分	発行額	表面利率	発行価格	応募者利回り	国債利回り格差	基準国債金利	
26年度	4月	100億円	0.224%	100円	0.224%	3.0bp	0.194%
	6月	100億円	0.209%	100円	0.209%	2.0bp	0.189%
	8月	100億円	0.163%	100円	0.163%	2.5bp	0.138%
	3月	100億円	0.132%	100円	0.132%	4.0bp	0.092%
27年度	4月	100億円	0.142%	100円	0.142%	4.0bp	0.102%
	6月	100億円	0.157%	100円	0.157%	5.0bp	0.107%
	10月	100億円	0.101%	100円	0.101%	5.0bp	0.051%
	3月	100億円	0.060%	100円	0.060%	26bp	▲0.200%
28年度	9月	100億円	0.001%	100円	0.001%	16.5bp	▲0.164%

(2)10年債

区分	発行額	表面利率	発行価格	応募者利回り	国債利回り格差	基準国債金利	
26年度	4月	100億円	0.694%	100円	0.694%	6.5bp	0.629%
	5月	200億円	0.679%	100円	0.679%	7.0bp	0.609%
	7月	200億円	0.610%	100円	0.610%	5.0bp	0.560%
	8月	100億円	0.566%	100円	0.566%	5.0bp	0.516%
	9月	200億円	0.564%	100円	0.564%	3.0bp	0.534%
	10月	100億円	0.554%	100円	0.554%	3.0bp	0.524%
	11月	200億円	0.515%	100円	0.515%	4.0bp	0.475%
27年度	3月	200億円	0.484%	100円	0.484%	6.5bp	0.419%
	4月	100億円	0.425%	100円	0.425%	7.0bp	0.355%
	5月	200億円	0.544%	100円	0.544%	10.0bp	0.444%
	7月	200億円	0.578%	100円	0.578%	9.0bp	0.488%
	8月	200億円	0.494%	100円	0.494%	9.0bp	0.404%
	9月	100億円	0.515%	100円	0.515%	12.0bp	0.395%
	10月	200億円	0.481%	100円	0.481%	15.0bp	0.331%
28年度	11月	100億円	0.461%	100円	0.461%	15.0bp	0.311%
	3月	100億円	0.110%	100円	0.110%	14.0bp	▲0.030%
	4月	200億円	0.080%	100円	0.080%	15.0bp	▲0.070%
	5月	200億円	0.080%	100円	0.080%	18.0bp	▲0.100%
	7月	100億円	0.050%	100円	0.050%	30.9bp	▲0.259%

(3)15年債

区分	発行額	表面利率	発行価格	応募者利回り	国債利回り格差	基準国債金利
26年度	200億円	1.062%	100円	1.062%	3.0bp	1.032%
	100億円	0.966%	100円	0.966%	2.5bp	0.941%
27年度	100億円	0.828%	100円	0.828%	2.5bp	0.803%
	100億円	0.739%	100円	0.739%	5.0bp	0.689%
28年度	100億円	0.190%	100円	0.190%	11.8bp	0.072%

(4)20年定時償還債

区分	発行額	表面利率	発行価格	応募者利回り	国債利回り格差	基準国債金利
26年度	100億円	0.778%	100.00円	0.778%	-	-
	200億円	0.654%	100.00円	0.654%	-	-
27年度	100億円	0.585%	100.00円	0.585%	-	-
28年度	100億円	0.150%	100.00円	0.150%	-	-

(5)20年債

区分	発行額	表面利率	発行価格	応募者利回り	国債利回り格差	基準国債金利
23年度	100億円	2.003%	100.00円	2.003%	9.0bp	1.913%
	200億円	1.777%	100.00円	1.777%	7.0bp	1.707%
24年度	200億円	1.736%	100.00円	1.736%	7.0bp	1.666%
	200億円	1.701%	100.00円	1.701%	5.0bp	1.651%
25年度	100億円	1.720%	100.00円	1.720%	5.0bp	1.670%
	100億円	1.604%	100.00円	1.604%	6.5bp	1.539%
26年度	100億円	1.473%	100.00円	1.473%	4.5bp	1.428%
	200億円	1.253%	100.00円	1.253%	3.5bp	1.218%
27年度	200億円	1.129%	100.00円	1.129%	3.0bp	1.099%
	200億円	0.230%	100.00円	0.230%	4.5bp	0.185%

(6)30年債

区分	発行額	表面利率	発行価格	応募者利回り	国債利回り格差	基準国債金利
23年度	200億円	2.108%	100.00円	2.108%	15.0bp	1.958%
24年度	100億円	2.092%	100.00円	2.092%	18.0bp	1.912%
25年度	300億円	1.988%	100.00円	1.988%	16.0bp	1.828%
26年度	300億円	1.862%	100.00円	1.862%	15.0bp	1.712%
27年度	300億円	1.539%	100.00円	1.539%	14.0bp	1.399%
28年度	340億円	0.468%	100.00円	0.468%	13.0bp	0.338%

お問い合わせ : 静岡県 経営管理部 財政課
メールアドレス : zaisei@pref.shizuoka.lg.jp
静岡県IRサイト : <http://www.pref.shizuoka.jp/governor/ir2002/index.html>
TEL : 054-221-2036 FAX : 054-221-2750